

120

DX推進のためのビジネスアーキテクト入門
～デジタル事例から学ぶビジネスモデル～

研修概要	デジタル時代、変革が求められる時代に、顧客（ユーザ部門）とともに、新しいビジネスモデルを構想することをすべての社会人にリテラシーとして求められています。 働き方改革が、なかなか「改善」の域から出られないように、本質的な課題に向き合う必要があります。 そうしたビジネスモデルの価値を考えることから、ビジネスの本質に迫る発想と、経営とITとの橋渡し・業務課題の見える化をするスキルを習得するコースです。				
開催予定	2025年	07月30日（水）	～	07月31日（木）	受講料 （税抜） ¥65,000（非会員） ¥58,500（会員）
日数	2日間	総時間数	12時間	開講時間	9:30 ～ 16:30 / 昼休憩 12:30 ～ 13:30（60分）
研修会場	福岡市博多区博多駅前2-11-16 第二大西ビル4F 401号室 株式会社福岡ソフトウェアセンター 福岡研修室				
対 象 者	デジタル時代にイノベーションを期待されるリーダー・これから関わるメンバー （DXを推進する部門においてリーダー、マネージャの役割を担っている、または将来プロジェクトを担う方、DX時代の提案を担う方）				
到達目標	1. DX（デジタルトランスフォーメーション）の時代に必要とされる「顧客に寄り添うビジネス価値提案」ができるようになる。 2. イノベーションを起こすプロジェクト企画時に、ビジネスモデルと必要な要素を含んだプランが作成できるようになる。				
使用教材	オリジナルテキスト				
カリキュラムの詳細					
1日目	1. デジタルトランスフォーメーション（DX）時代の価値を考える		◆DX（デジタルトランスフォーメーション）時代のビジネスモデル ◆顧客視点からビジネス上の価値を考える ◆本質的な違いを理解する<クイズ> ◆事例からビジネスモデルを考える（デジタル事例の紹介）		
	2. ステークホルダと価値の分析		◆ステークホルダの分析 ◆ステークホルダの価値の分析 [ステークホルダの価値分析] <実践ワークショップ：> ・カスタマジャーニーマップ 作成（ワークショップ） ・バリュープロポジションによる価値の分析>		
2日目	3. 超上流工程の考え方 （案件・プロジェクト企画）		◆経営とITとの橋渡し～ポートフォリオ・プログラム・プロジェクト ◆プロジェクトマネジメントとプロダクトマネジメントの相違 ◆デザイン思考的発想 ～未知へのチャレンジプロジェクト ◆IT組織としての方向性・データからの価値創出		
	4. ビジネスモデルの見える化		◆ ビジネスモデルの分析 ◆複数テーマの分析（優先度の分析） <実践ワークショップ：> [価値の分析]ビジネスモデル・キャンバス バリュープロポジション・キャンバス作成> ※見える化して社内提案		
関連講座					

※最低開催人数は4名とさせていただきます。開催可否は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のためカリキュラムは予告なく変更させていただくことがあります。